

船舶事故等調査報告書

平成22年12月16日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010仙第37号	
事故等種類	運航阻害	
発生日時	平成21年11月26日（木） 21時25分ごろ	
発生場所	青森市青森港沖館西防波堤灯台から真方位034° 1.9海里付近 (概位 北緯40° 52.5′ 東経140° 44.6′)	
事故等調査の経過	平成22年5月14日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	旅客船 3号はやぶさ、2,107トン	
船舶番号、船舶所有者等	135353、共栄運輸株式会社	
乗組員等に関する情報	機関長、三級海技士（機関）	
死傷者等	なし	
損傷	なし	
事故等の経過	<p>本船は、船長及び機関長ほか12人が乗り組み、乗客32人及び車両30台を搭載して北海道函館市函館港を出航し、青森港港界付近を航行中、補助ボイラの不調によりC重油を加熱できなくなったため、発電機の燃料油をC重油からA重油に切り替えた際、平成21年11月26日21時25分ごろ、発電機がブラックアウトし、主機が停止した。</p> <p>本船は、投錨して行き足を止めたのち、機関長が原因を調査したところ、A重油供給管系統上の弁が閉まっていたため、同弁を開放して発電機及び主機を再始動し、23時15分ごろ、青森港に入港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 1、視界 良好</p> <p>海象：平穏</p>	
その他の事項	本船は、平成21年7月31日、乗組員が、A重油供給管系統上のこし器の掃除を行った際、同こし器前後の弁を閉めたが、掃除終了後、同弁を開放していなかった。	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、青森港港界付近を航行中、発電機の燃料油をC重油からA重油に切り替えた際、A重油供給管系統上の弁が閉まっていたため、燃料油が発電機に供給されずに発電機がブラックアウトし、主機が停止したものと考えられる。</p> <p>本船は、乗組員が、A重油供給管系統上のこし器の掃除を行った際、同こし器前後の弁を閉めたが、掃除終了後、同弁を開放していなかったものと考えられる。</p>
原因	本インシデントは、本船が青森港港界付近を航行中、発電機の燃料油をC重油からA重油に切り替えた際、A重油供給管系統上の弁が閉まってい	

	たため、燃料油が供給されずに発電機がブラックアウトし、主機が停止したことにより発生したものと考えられる。
--	--